

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

先週土曜日、各地区の小中学校では子どもたちの歓声が響き渡っていた。新宿小学校の運動会、グラウンドの周りをぐるりと保護者が囲み、中央の児童を熱く見つめている。かけっこを見ながら、つい大声で応援してしまう私も楽しい。走っている子も、なぜかニコニコしながら走っている。誇らしいのだろう。肺にいっぱいの酸素が入ってきて気持ちいいのだろう。好天に恵まれた運動会からは、閉会式まで元気な声が聞こえていた。

主催事業報告 5/16(金)

「大人の色鉛筆画」

地域にお住いで、子ども向けの美術サークルで活動している方に講師をお願いして、色鉛筆を使った描き方をご指導いただきました。スケッチブックに線を描いたり色を重ねて色合いを見たりする練習をした後に、持参した果物や花、人形などのスケッチに挑戦しました。参加者の中には、色鉛筆で描くことが初めての方もいらっしゃいましたが、講師の先生から随時、アドバイスしていただきながら進めました。黙々と、時には話し合いながら楽しく時間は過ぎていきます。出来上がった作品を互いに鑑賞しながら、振り返る時間もまた有意義であったようでした。

アンケートの一部を紹介します。

・とても楽しく参加させていただきました。・色鉛筆画むずしい。でもとても丁寧にご指導いただき、これからも自宅で描いてみようと思いました。・先生の説明がよく分かった。月に1回でもこの講座が続けばいいのに。・楽しかった。初めての方とも同じ絵でつながれたので楽しかったのだと思う。・先生の指導がよかったです。ご参加の皆様も和やかでとても楽しかったです。



には同時進行で洗い物をはじめるという、調理に慣れた方もいらっしゃいました。

二人一組の調理は無事2時間半に納まり、皆さんで、できあがった料理をいただきました。家に帰って復習し、次回 6/21(土)の講座につなげる計画です。協力しながら、黙々と調理する男性たちの姿が印象的でした。

主催事業報告 5/31(土)

「館長とふるさとを語ろう」

公民館だよりに私の故郷・長崎について時々書かせてもらっていたのですが、その話題が来館者の方に広がり、立ち話で互いの故郷が話題になりました。そこで、公民館を通して、地域の方とのつながりを広めたいとの思いから、チャレンジ企画として初めて開催しました。参加者の方は、北海道から鹿児島まで 8 名。それぞれの歴史や名産品、その土地で暮らした思い出等々、興味あるお話を、ひとり5分という制限時間いっぱいまで、懐かしむように、また楽しそうに語っていただきました。

千葉市に生まれ育った方も、幼少期までしかその土地に暮らしていなかった方も、「ふるさと」への想いはやはりあたたかいものを感じました。目を開けて、前にいる参加者たちへ話し始める表情は、遠くなってしまったけれど、確実にそこにあったふるさとの情景を見つめているようでした。

そして皆さん同じように抱いていることは、「貧しかったけど豊かだった」ということでした。自然があった、隣近所と家族ぐるみの付き合いがあった、近所にガツンと叱るおじさんがいた、父がいた、母がいた、寒くて家族一緒に布団に潜り込んで寝た、…。どの地方でも同じような昭和のにおいや色彩や温もりを感じさせられました。

「ふるさと」という言葉には、山や川、海、田畠などの自然に囲まれた風景がイメージされますが、それらがないところに生まれ育った人にふるさとはないのか…。そう考えてしまった参加者の中から、「ふるさと」の定義の一つに、「義務教育を受けた土地」というのを見つけたそうです。だから、千葉市をふるさとと呼べるのだ、と喜びの声も。それを聞いた他の参加者からは「なるほど！ そうかあ」と声が上がりました。44年もの間、同窓会を続いているという話もありました。

ふるさとは 遠きにありて おもふもの…その偉大さを改めて感じることができた時間でした。



クラブ連絡会会費 会計さんに渡しました

クラブ連絡会総会の出席、ありがとうございました。令和6年度報告、令和7年度計画、新役員選出等、滞りなく進行されたと聞いています。

欠席されていたサークルの代表者の方からは、後日、クラブ連絡会会費をお預かりし、会計さんにお渡しました。例年通り、文化祭等の諸経費に使わせていただくことになろうかと思います。

熱中症予防 今のうちから

先週くらいから、急に暑くなったり、冷たい雨が続いたりと梅雨入り前に不順な天候が続いています。東京が気温17度の時に北海道では27度の日もありました。今週末には千葉は30度近くなる日もあるようです。まだからだが気温の上昇に慣れていないうちにこのような天候は体に堪えますね。熱中症予防のために「暑熱順化(馴化)」が大切のことです。普段の生活の中で無理のない範囲で汗をかくようにしましょう。歩いたりストレッチや筋トレなどの軽い運動をしたり、シャワーだけでなく湯船につかるなどして、熱くなる前から余裕をもって暑熱順化を始めましょう。

声に出す日本語

先日、久しぶりに耳にしました。誰かから教わったという記憶はすっかりありませんが、なぜか空気のような存在でメロディが口について出てきます。30年以上前、幼かった息子を抱っこすると、なぜか揺すりたくなって、なぜか歌っていました。

なぜか自分の体も揺れてきます。なぜか…。さあ、優しく歌ってみましょう。

『揺籃のうた』 北原白秋

ゆりかご
『揺籃のうた』 北原白秋
揺籃のうたを カナリヤがうたうよ。
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ。
揺籃のうえに 枇杷の実が揺れるよ。
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ。
揺籃のつなを 木ねずみが揺するよ。
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ。
揺籃の夢に 黄色い月がかかるよ。
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ。

かけっこも 軽やか 日焼け 頬に風

～今年もがんばったね～

新緑の葉擦れ 呼び名か 誕生日

～こうちゃん、65になったとやろ～